

平成27年度に実施した子ども条例に基づく施策の実施状況一覧

別表

(1) 子どもの権利について学ぶ機会の提供等

取組名	取組概要	対象	担当課
「三重県子ども条例」推進・啓発講演会等の実施	「三重県子ども条例」について、市町や市町教育委員会の人権担当者等を対象とした講演会(1件)、中学生を対象にした人権学習での講演活動(1件)を実施した。 また、県庁見学の小学生を対象に着ぐるみを用いた啓発活動を行うとともに、あわせて学校を通じチラシ等を自宅に持ち帰ってもらうことにより、条例の家族への啓発も行う機会とした。	子ども、大人	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
県庁見学	広く県民に対して県庁見学の機会を設け、県庁内の執務スペースや、県政の取り組み状況、議事堂本会議場また県庁屋上からの伊勢湾や津市の街並み等を実際に見学することで、県庁・県政への関心・理解・親近感を深める機会とした。 (受入件数：64団体、2,828人)	子ども	戦略企画部 広聴広報課
移動人権啓発事業	商業施設や地域のイベント等、様々な場や機会を利用してパネル展示、アンケート、啓発物品の配布等を実施し人権尊重の思想を県民に広めた。 (実施回数：19回、アンケート協力者数：1,431人)	子ども、大人	環境生活部 人権センター
非行防止・薬物乱用防止教室	少年の規範意識を向上させるため、保育所、幼稚園、小学校、中学校等を訪問し、非行防止・薬物乱用防止教室を開催した。 (平成27年度、実施校数：延べ522校、参加者数：延べ52,229人)	幼児～高校生、大学生、専門学校生、保護者及び教員	警察本部少年課
三重県立図書館 児童コーナー、ティーンズコーナー	児童・中高生向き図書や児童研究用の図書を揃え、閲覧、貸出、参考調査サービスの提供を行った。また子どもや大人が求めている図書を選定し、揃えるとともに、各サービスの向上を図った。 ・児童等向け図書、雑誌購入(2,744冊) ・児童等向け図書、雑誌貸出冊数(個人貸出)(127,171冊)	子ども、大人	環境生活部 図書館
博物館教室やフィールドワーク、アウトリーチ活動等	三重の自然と歴史・文化について多くの県民のみなさんに興味・関心をもっていただくきっかけづくりを目的とした教育普及活動を、県内各地のフィールドで実施した。 ・オオサンショウウオ「さんちゃん」のお食事会(5～3月奇数月の第2土曜、参加者数：462人) ・週末ワークショップ(4月25日、5月23日、6月27日、7月25日、8月2日、9月26日、10月17日、11月28日、12月12日、1月10日、1月23日、1月31日、2月27日、2月28日、3月26日 参加者数：1,030人) ・同定会(8月23日、参加者数：48人) ・親子で標本づくりにチャレンジ！(8月16日・22日 参加者数：30人) ・化石レプリカづくり(6月21日 参加者数：51人) ・移動展示in熊野古道センター(3月12日・13日 参加者数：644人)	子ども、大人	環境生活部 総合博物館
「命の大切さを学ぶ教室」の開催	次代を担う中学生、高校生及び大学生に対し、犯罪被害者等の講師が、犯罪被害者等が受けた様々な痛み、家族の絆、命の大切さ、被害者も加害者も出さない社会を希求する思い等について語りかけ、受講した生徒が犯罪被害者等の悲痛な思いや置かれている現状に対する理解を深め、社会全体で犯罪被害者等を支える機運の醸成を図るとともに、自分や他人の命を大切にす意識、犯罪を犯してはならないという規範意識の向上を図ることを目的として開催した。 (開催回数：16回、受講者数：約5,470人) (うち、中高校生：約5,240人)	中学生、高校生及び大学生	警察本部広聴広報課
青少年消費生活講座	一人ひとりが消費生活についての正しい知識を持ち、自ら判断し、行動する「自立した消費者」となるため、契約の知識や消費者トラブルの実態等を講義することにより、消費者トラブルを未然に防止することを目的に実施した。 (実施数：学校数10校、受講者数：1,275人)	高校生～大学生	環境生活部交通安 全・消費生活課

取組名	取組概要	対象	担当課
交通安全県民力向上事業	<p>交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させ、主に子どもを中心とする交通弱者の交通安全に対する県民力を高めることにより交通事故抑止を図ることを目的に、「交通安全アドバイザー」を活用し、県内の交通情勢の変化に迅速・的確に即した、出前方式の参加・体験・実践型の交通安全教育を推進した。</p> <p>(平成27年度、幼児：5,540人、小学生：9,850人、保護者：1,432人、高齢者：2,378人、その他：727人)</p>	<p>幼児・小学生 大人（保護者、高齢者）</p>	<p>警察本部交通企画課</p>

(2) 子どもが意見表明する機会の設定等

取組名	取組概要	対象	担当課
キッズ・モニターアンケートの実施	県の施策に子どもの意見や状況を取り入れるため、子どもを対象にインターネットを用いた電子アンケートに回答していただく「キッズ・モニター」を実施した。(実施回数：9回) (テーマ) ①男女共同参画社会の実現について(環境生活部) ②こどもほっとダイヤルについて(健康福祉部) ③家庭の日について(健康福祉部) ④ふだんの生活とこれまでの体験について(健康福祉部) ⑤インターネットやスマートフォン・携帯電話について(健康福祉部) ⑥博物館(MieMu)について(総合博物館) ⑦「ありがとう」について(健康福祉部) ⑧子ども条例について(健康福祉部) ⑨キッズ・モニターについて(健康福祉部)	小学4年生～高校生	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
家族の絆 一行詩コンクールの実施	温かい気持ちのやりとりのなかで、子どもが安心して自分らしく育つことを期待して、「ありがとう」をテーマにした一行詩を募集した。また、一行詩に込められた想いや絆を広く共有し、さらに「ありがとう」の輪が広がるように、入賞作品について作品集を作成し、保育園や幼稚園、学校をはじめ、子どもに関連した機関や団体に配布した。(応募作品数：11,294作品)	子ども、 大人	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
明るい選挙啓発ポスターコンクール	選挙が明るく正しく行われるよう啓発用のポスターを募集し、県審査特選作品については中央審査(主催は(公財)明るい選挙推進協会、都道府県選挙管理委員会連合会等で文部科学省、都道府県教育委員会の後援)へ出品した。 (参加校数：県内13市町106校、参加者数：1,314人)	小学生～ 高校生	選挙管理委員会
統計グラフ三重県コンクール	小・中学生を中心に県内から統計グラフを募集し、作品の制作を通じ統計に対する関心を深めるとともに、統計の表現技術の向上に役立てることを目的として実施した。また、参加者全員に参加賞、優秀作品には知事賞等の授与を行った。 (実施期間：6月～9月、参加者数：345人)	子ども (小・ 中・高校 生等)、 大人	戦略企画部 統計課
みえの地物が一番！朝食メニューコンクール	小学生(5・6年生)及び中学生を対象に子どもたち自身が地場産物を使用した朝食メニューを考え、調理するコンクールを実施した。この取組を通して、自らの食生活に関心を持ち、望ましい食習慣を身につけることや食の大切さや地場産物とその生産者について理解を深めた。 (応募総数：小学生の部687作品、中学生の部1,670作品、最優秀賞各部1作品、優秀賞各部4作品)	小中学 校・特別 支援学校 の児童生 徒	教育委員会事務局 保健体育課
人権メッセージ募集	県民が、差別をなくすために真剣に取り組み、県民一人ひとりが、人権啓発の主体者であることの意識付けに繋がるよう人権メッセージを募集した。(応募件数：2,171件)	子ども、 大人	環境生活部 人権センター
人権ポスター募集	県内の小中高等学校等の児童・生徒が人権について考え、表現する機会としてポスターを募集した。優秀作品により人権カレンダーの作成や巡回展示による啓発を行った。 (取組数：177校 応募数：26,224人)	子ども (小・ 中・高校 生等)	環境生活部 人権センター
人権フォトコンテスト	「自分らしく生きる」「共に生きる姿」「命の大切さ」をテーマに生活の様々な場面における「人権」を感性で捉えたコンテストを開催した。募集・応募・優秀作品の展示の過程を通じて人権尊重を広く県民に啓発した。 (応募件数：295件)	子ども、 大人	環境生活部 人権センター
三重県高等学校科学オリンピック大会	高校生が学校ごとにチームとして、授業での学習をベースに生活に関連した課題に取り組むことにより、数学・理科・情報や科学技術に対する興味や関心を喚起するとともに、科学的な思考力・判断力・表現力等の育成を図った。(11月7日開催 13チーム100人参加)	高校1、2 年生	教育委員会事務局 高校教育課
薬物乱用防止ポスター	薬物乱用を許さない社会づくりを推進するため、中学生、高校生から薬物乱用防止の大切さを同世代に訴えるポスターを募集し、入賞作品は県内で展示するとともに、三重県ホームページに掲載した。 (応募点数：1,900点)	中学生～ 高校生	健康福祉部 薬務感染症対策課
こども会議	小学生～中学生までを主な対象に、博物館での楽しみ方や展示の見方をテーマとして、夜の博物館を探検して、いつもとは違う展示の楽しみ方を発見するとともに、これから博物館でやってみたいことについて意見交換を行った。 (実施日：8月29日、参加者数：14人)	小学生～ 中学生、 大人	環境生活部 総合博物館
地球温暖化防止啓発ポスターコンクール	県民の地球温暖化防止への関心、意識を高めることを目的として、小・中学生を対象にポスターコンクールを実施した。 (応募者：小中学校 113校、2,193人)	小学生、 中学生	環境生活部 地球温暖化対策課

取組名	取組概要	対象	担当課
野生生物保護啓発ポスターコンクール	ポスター制作過程を通して野生生物についての保護思想を高めるとともに、県民への普及啓発を図ることを目的として、小学生～高校生を対象にポスターコンクールを実施した。 (応募数：小中学校・高校・特別支援学校等 150校 1,603人)	小学生～高校生	農林水産部 みどり共生推進課
全日本中学生水の作文コンクール	8月1日の「水の日」及び8月1日～7日の「水の週間」に合わせ、中学生が水について理解を深めるための取組の一環として「全日本中学生水の作文コンクール」を実施した。(テーマ「水について考える」、国土交通省・都道府県共催) (三重県応募総数：668作品)	中学生	地域連携部 水資源・地域プロジェクト課
防火習字	火災予防に対する関心を高めるため、県内の小学4,5,6年生を対象に防火習字を募集した。最優秀賞3名、優秀賞3名、優良賞3名、佳作15名を選定し、表彰するとともに、入選作品を秋の火災予防運動期間中、アスト津に展示した。 (応募数：3,283件)	小学4年生～6年生	防災対策部 消防・保安課
土砂災害防止に関する絵画・作文	土砂災害の防止と被害の軽減を図るため、国と各都道府県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」として、各種の活動を実施した。その活動の一環として、小中学生を対象とした絵画・作文を募集し、優秀な作品を表彰する取組により啓発に努めた。 (応募数：小中学校13校 179件)	小学生～中学生	県土整備部 流域管理課
河川・海岸愛護ポスターの募集及びカレンダーの作成	川と海の役割や大切さについて理解と関心を深めるため、国と各都道府県では、毎年7月を「河川・海岸愛護月間」として、各種の活動を実施している。その活動の一環として、小中学生を対象としたポスターを募集し、優秀な作品には知事賞・議長賞等を授与するとともに、入選作品を素材としたカレンダーを作成して県内の小中学校等に配布する取組を行った。 (応募数：小中学校168校 1,626件)	小学生～中学生	県土整備部 流域管理課
国土と交通に関する図画コンクール	人々の生き生きした暮らしと、これを支える活力ある経済社会、日々の安全、美しい良好な環境等を実現するためのハード・ソフトの基盤形成への理解を深めてもらう活動として、国の取組に呼応し、小学生を対象に図画を募集し優秀な作品を表彰することにより啓発に努めた。 なお、その中から佳作1点を受賞した。 (応募数：県内6校 26件)	小学生	県土整備部 県土整備総務課
交通安全メッセージ運動	父母・祖父母など身近な人と交通安全に関するお願いのメッセージをやり取りすることで、子どもの交通安全意識を高め、家庭からの交通安全意識の向上を図った。 (3,175組参加)	子ども、大人(主に保護者)	環境生活部交通安全・消費生活課
交通安全カレンダーの作成	J A 共済連三重及び三重県交通安全協会等との連携により、小中学生から募集した交通安全ポスターを用いたカレンダーを作成・配布し、子ども、保護者の交通安全意識の高揚を図った。 (カレンダー作成部数：3,300部)	小・中学生	警察本部交通企画課
高校生ビブリオバトル推進事業	ビブリオバトル(書評合戦)を活用した読書活動の推進(校内行事等への導入をはじめとした普及活動、ビブリオバトルの開催)により、高校生の思考力・判断力・表現力等の育成を図った。 (ビブリオバトル参加校数：37校)	高校生	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課

(3) 子どもが主体的に取り組む様々な活動の支援

取組名	取組概要	対象	担当課
人権まなびの発表会	各学校で取り組まれている人権学習や人権に関する生徒の自主的な活動について、生徒が成果発表を全県規模で行った。 (実施日:10月24日、参加者数:120人(生徒38人 教職員等82人))	高等学校・特別支援学校高等部の生徒及び教育関係者	教育委員会事務局 人権教育課
地区別人権学習活動交流会	県内6地区(北勢・中勢・松阪・南勢・伊賀・牟婁)において、各学校で取り組まれている、「協力」「参加」「体験」を核とした主体的・実践的な人権学習活動について、発表や意見交流を行った。 (参加者数:(6地区総計)260人(生徒139人 教職員等121人))	高等学校・特別支援学校高等部の生徒及び教育関係者	教育委員会事務局 人権教育課
高校生フェスティバル	「みえ高文祭」「三重県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会及び三重県高等学校定時制通信制生徒文化作品展」「人権まなびの発表会」「高校生スマホサミット」「高校紹介ひろば」「理数体験フェスタ」を実施し、高校生が日頃の学習や文化活動等の成果を情報発信した。 ・実施日:10月23~25日 ・開催場所:三重県総合文化センター、三重県総合博物館 ・参加生徒延べ2,305人、一般来場者延べ2,177人	子ども、大人	教育委員会事務局 高校教育課
全国産業教育フェア	産業界等との連携のもと、地域や日本の未来を担い、グローバルに活躍する職業人の育成を目指す産業教育の一層の振興を図るとともに、専門高校等の特色ある教育活動の成果と魅力を広く発信することを目的に、本県において、第25回全国産業教育フェア三重大会(さんフェアみえ2015)を開催した。「常若の地から響け!挑戦・交流・進化の想い」をテーマに、全国の高校生が日頃の学習成果を発表した。 ・実施日:10月31日~11月1日 ・開催場所:三重県営サンアリーナ、相可高校、鳥羽港、三重県営総合競技場 ・参加人数 延べ約11万人	子ども、大人	教育委員会事務局 高校教育課
農村環境学習(田んぼの生きもの観察会)	子どもたちの農村環境への関心を深めるため、子どもたち(小学生以下)が田んぼに住む生きものを採取し、講師から生きもの説明を受け生態系・環境について勉強する「田んぼ生きもの観察会」を実施した。 (参加者:子ども43人(保護者を除く))	子ども	農林水産部 農業基盤整備課
みえこどもの城の運営	みえこどもの城において、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、児童に健全な遊びを提供した。(運営については、指定管理にて民間団体に委託している。) ・ドームシアターでの映画の上映やプラネタリウムの投影 ・プレイランドの遊具やカプラ(積み木)の設置 ・コンサート、マジックショーなどの開催 ・芸術分野や科学分野の工作メニューの提供 ・クライミングウォールの設置 ・各種展示・各種イベントの実施 (27年度来館者数:250,152人)	子ども、大人	健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課
発明くふう展	子どもたちの発明・発見への関心をいっそう高め、ものづくりの楽しさや未来の科学への夢を喚起し、子どもたちの「科学の心」を育成することを目的として、子どもたちの発明に関する作品215点を展示する「発明くふう展」を開催した。 (開催日:27年10月17日、18日、開催場所:イオン津南ショッピングセンター1階サンバレーホール)参加人数:995人	幼児~高校生	雇用経済部 ものづくり推進課
Jr.ロボコン2014 in 三重	ものづくりの楽しさと科学技術の素晴らしさを体験できる青少年のための企画として、県内の小・中学生を対象にした宿泊型のロボット作成キャンプを実施し、キャンプ最終日には成果発表会として、ロボットコンテストを開催した。 (開催期間:8月12日~15日の3泊4日 開催場所:津市青少年野外活動センター、センターパレス [成果発表会])参加人数40人	小・中学生	雇用経済部 ものづくり推進課

取組名	取組概要	対象	担当課
子供科学体験教室	子どもの科学への理解度を向上させるため、27年4月19日に工業研究所において、科学体験教室を開催した。545人が来場し、「オレンジの皮の秘密など」の科学実験等を体験した。	小学生	雇用経済部 ものづくり推進課
三重県環境学習情報センター	社会見学の受入れ、各種環境講座の実施、イベント開催等を通じて、環境保全に関する気づきや実践への機会を提供した。 ・春のキッズエコフェア（4月25日・26日） ・Mieこどもエコフェア（7月18日・19日） ・秋のキッズエコフェア（10月3日・4日） ・夏休みこども環境講座 （環境教育参加者数：29,873人）	子ども、 大人	環境生活部 地球温暖化対策課
キッズISO14000プログラム	小学校、企業、行政が連携してキッズISO14000プログラムに取り組むことにより、家庭を巻き込んだ環境保全活動を推進した。 （参加児童数：小学校 19校 718人）	小学生、 大人	環境生活部 地球温暖化対策課
花育の取組（フラワーラボコンクール）	中日新聞社と7県1市が主催となり、学校環境の美化と豊かな情操教育、花による地域の快適な環境作りなどに役立てることを目的に、小中学校を対象とした学校花壇コンクールを開催した。 また、学校花壇設計図、花と私の作文、花壇の写生、校外花壇各コンクール、花壇指導者講習会や、花育推進のため、新たにフラワーラボコンクールに参加する小中学校に普及指導員が栽培指導と資材の支援を行った。 （学校花壇コンクール参加校数：39校 うち小学校29校、中学校8校、特別支援学校2校）	小・中学生	農林水産部 農産園芸課 教育委員会事務局 小中学校教育課
鈴鹿青少年センター主催事業「わくわくファミリーキャンプ」	親子で宿泊し、キャンプファイヤー、野外活動及び自然観察などアウトドアの基礎を体験した。親子のふれあいを通して、家族の絆を深める場を提供した。 （実施日：10月24日～25日 参加者数：46人）	小中学生 とその家族	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
鈴鹿青少年センター主催事業「ウィンターアドベンチャー」	鈴鹿青少年の森で冬の自然観察をしたり、自然の材料を利用した創作活動を行った。集団宿泊体験により協調性や思いやりの心を育てた。 （実施日：12月12日～13日 参加者数：48人）	小学4年生 ～中学2年 生	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
鈴鹿青少年センター主催事業「レッツ・チャレンジ2015」	異年齢の子どもたちが共同生活をしながら自然体験等を通して、自主性、社会性、協調性、忍耐力、責任感を身につけ、自然に対する理解や愛情を育んだ。 （実施日：8月19日～22日・10月31日 参加者数：56人）	小学5年生 ～中学2年 生	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
鈴鹿青少年センター主催事業「おもしろ自然科学教室」	摩訶不思議な実験、工作、観察等を通して、自分の目で見て、耳で聞いて、体で感じて学んだ。 （実施日：1月23、30日、2月6日 参加者数：71人）	小学5年生 ～6年生	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
鈴鹿青少年センター主催事業「親子Dayキャンプ」	親子でデイキャンプを楽しみながら、レクリエーションやキャンプファイヤーなどを行い、親子の絆を深める場を提供した。 （実施日：3月5日 参加者数：35人）	年中～小 学3年生と その保護 者	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
熊野少年自然の家主催事業「幻想ロマンホテル祭」	夏の夜の森を川沿いに散策しながら、親子でのホテル鑑賞を実施した。 （実施日：6月7日、場所：熊野市金山町古屋川周辺、参加者数：81人）	小学生～ 大人まで の親子	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
熊野少年自然の家主催事業「真夏のロングキャンプ」	熊野少年自然の家をベースに大自然の中での長期キャンプによりたくましさ育てた。 （実施日：7月26日～30日、場所：熊野市金山町 熊野少年自然の家 参加者数：32人）	小学4年生 ～6年生	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
熊野少年自然の家主催事業「親子deキャンプ」	熊野少年自然の家をベースに大自然の中での親子で行うキャンプにより家族で野外活動をする楽しさを味わうとともに、防災対策についても学んだ。 （実施日：6月6日～7日、10月3日～4日 場所：熊野市金山町 熊野少年自然の家 参加者数：延べ75人）	小学生と その保護 者	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課
熊野少年自然の家主催事業「川遊びの達人講座」	親子で「溪流釣り」「アマゴのつかみどり」「スイカ割り」を行い川遊びの楽しみ方を学んだ。 （実施日：8月24日、場所：熊野市育生町 尾川川、参加者数：35人）	小学生～ 大人まで の親子	教育委員会事務局 社会教育・文化財 保護課

取組名	取組概要	対象	担当課
熊野少年自然の家 主催事業「アウトドア親子お料理教室」	大自然の中で、親子で毎回違ったメニューのアウトドアクッキングを体験した。 (実施日：5月17日、6月21日、9月13日、11月15日 場所：少年自然の家 野外炊飯設備、参加者数：延べ151人)	小学生～大人まで (小1、2は保護者同伴であること)	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
熊野少年自然の家主催事業「サイエンステクノロジー講座」	空気や電気、重力や光など自然の中にあるものの力を引き出す科学の楽しさを学んだ。(実施日 5月9日、7月4日、2月27日 参加 53人)	小学3～6年生	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
熊野少年自然の家主催事業「びっくり化石発掘会」	親子で発掘体験を行い出土した化石についての学習を行うことで、体験を通し自然科学を楽しく学んだ。(実施日 1月24日 参加 36人)	小学生とその保護者	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
社会教育実践交流広場「地域と関わる学生」 児童・生徒向け体験コーナー	県内の高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校)に在籍する学生の指導・支援による児童・生徒向け体験コーナーで、バルーンアートや食育ランチオンマット作り、ペーパークラフト、マイコン制御のライントレースカー操作などを体験した。 (実施日：8月22日、場所：県総合文化センター、県総合博物館 参加者数：延べ240人)	小学生～中学生 (未就学児も参加)	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
ふるさと三重体験教室	郷土教育を推進するため、学校等へ出向き、三重県の伝統工芸品等を活用した創作体験学習を行った。 (実施日：11月21日、1月12日、2月18日 参加人数：10人、19人、51人)	小学生、中学生	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
ブドウ栽培体験会	農業研究所伊賀農業研究室において、近隣の保育所園児を対象に、伊賀地域の特産品であるブドウ栽培の作業体験を通じ、農業や食べ物の大切さについて理解を深めてもらうことを目的として、花切り、袋かけ、収穫の3回の作業体験会を開催した。 (近隣4保育所の年長園児 約30人、5月・6月・8月の3回実施)	保育園児	農林水産部 担い手支援課 農業研究所
森林環境教育・木育の推進	森林の持つ機能や木材利用への理解を深めるため、学校等における出前授業の実施や、子どもが参加できる森林の活動体験講座「森の学校」の開催、木育(もくいく)の推進にかかる遊具の開発・展開、森林環境教育・木育の指導者養成等に取り組んだ。 (出前授業の実施回数：9回、「森の学校」の開催：8回、指導者養成講座開催数：7回)	学校等(小学生高学年が主)、大人	農林水産部 みどり共生推進課

(4) 子どもの育ちを支える人材育成、環境整備

取組名	取組概要	対象	担当課
預かり保育の推進	私立幼稚園において、地域の実態や保護者のニーズに応じ、正規の教育時間開始前や終了後、及び休業日に教育活動を実施するための人件費に対し助成を行った。 (助成法人数：26法人)	学校法人	健康福祉部 子ども・家庭局子育て支援課
放課後子ども教室の推進	放課後児童対策の一つとして、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、活動場所を設け地域の方々の参画を得て文化スポーツ学習活動などの取組を支援し、子どもが地域社会の中で健やかに育まれる居場所を確保した。 (実施地域：20市町、教室数：71教室)	市町	健康福祉部 子ども・家庭局子育て支援課
放課後児童健全育成事業の推進	放課後児童対策事業費補助金を支給する等、市町が行う放課後児童クラブ施策を支援した。 (実施地域：29市町、クラブ数：338クラブ 平成27年5月1日現在)	市町	健康福祉部 子ども・家庭局子育て支援課
保育士に対する研修の実施	新任保育士の資質の向上や就業継続支援を図るための研修、人権問題についての正しい知識を習得するための研修等を実施した。 (新任保育士就業継続研修：202人、人権保育専門講座：11市、24講座)	保育士等	健康福祉部 子ども・家庭局子育て支援課
特別保育の促進	市町が実施する延長保育(180か所)、病児・病後児保育(10か所)など多様な保育サービスを支援した。	市町	健康福祉部 子ども・家庭局子育て支援課
幼稚園教育研究協議会の開催	教員の指導力を高め、本県における幼稚園教育の振興・充実を図るため、県内の国公立幼稚園等関係者、市町教育委員会関係者及び県内の保育所関係者を対象に、幼稚園の教育課程の編成など、幼稚園教育に関する指導上の諸問題等について研究協議を行った。 (参加者数：315人)	幼稚園教諭等	教育委員会事務局 小中学校教育課
いじめ・不登校対策事業 学びの環境づくり支援事業	いじめ、不登校の未然防止を推進するため、児童生徒の豊かな人間性や、自ら学び自ら考える力などの「生き抜いていく力」を育成する「魅力ある学校づくり」について、推進中学校区において調査研究事業を実施し、不登校児童生数が減少するなど効果が見られた取組を、広く県内の学校や市町教育委員会等に還流した。 関係機関からなるみえ不登校支援ネットワークの活動を通して相互に連携を図るほか、不登校の子どもたちを支援するフリースクールと市町教育委員会が連携して行う事業に対して支援を行った。(対象市町：1市)	教職員 市町教育委員会 児童生徒	教育委員会事務局 生徒指導課
スクールカウンセラー等活用事業	子どもの心のケア及び保護者や教職員への助言・支援を行うスクールカウンセラーや、福祉的な視点から問題解決を支援するスクールソーシャルワーカーを派遣等して、学校における教育相談体制の推進及び関係機関との連携を図った。 また、中学校区を1単位としてスクールカウンセラーを15中学校区に配置し、小中学校間の連携や福祉機関との連携を進め、教育相談体制の充実を図ることで、子どもが安心して学べる環境づくりを進めた。 【スクールカウンセラーの配置校：全157中学校区(小学校338校、中学校157校、高等学校36校)】 【スクールソーシャルワーカーの配置：8人を県教育委員会に配置】	教職員 児童生徒 保護者	教育委員会事務局 生徒指導課
子育てはっぴいパパ・ママワークの活用	保健センターや子育て支援センター等で、子育て中の親を対象にワークシートのテーマに基づき、子育ての思いや悩み、不安などを語り合い、共感する中で、親の役割や自身の成長について、気づき、学び合う機会を提供する参加型のプログラムである「はっぴいパパ・ママワーク」の活用を図り子育ての不安感負担感の解消を図った。(実施回数：18か所、参加者数：242人)	大人	健康福祉部 子ども・家庭局少子化対策課
子育て家庭応援クーポン	地域の商店や企業の協賛による、18歳未満の子育て世帯に対して割引やサービスの提供を働きかけた。(協賛企業数：419店舗 平成28年3月31日現在)	子ども、大人	健康福祉部 子ども・家庭局少子化対策課
すべての子どもが輝く学校づくり支援事業	「すべての子どもが輝く学校づくり支援会議」を年間3回実施し、スクールソーシャルワーカーを交えての事例検討、学校におけるチーム支援の在り方等について研修を行った。また、県内8市町の10推進校区(中学校10校、小学校29校)において、研修会を充実させるため、要請に応じて専門家の講師を派遣するとともに、県教育委員会指導主事が指導助言にあたった。さらに、推進中学校区においては、研修会や連絡会議等を通して小小連携、小中連携を図り、問題行動等の未然防止を目的とした情報交換や教職員研修等を実施した。	教職員 市町教育委員会 児童生徒	教育委員会事務局 生徒指導課

取組名	取組概要	対象	担当課
みえの子育ちサポーターの養成	地域において子どもの育ちを見守り子どもの主体的な活動を支える人材として「みえの子育ちサポーター」を養成するために、出前講座を実施した。 (みえの子育ちサポーター養成数：1,984人、出前講座：45回)	大人	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
みえ次世代育成 応援ネットワー クの活動促進	社会全体で子どもや子育て家庭を支える地域を実現するために、地域の担い手である企業や子育て支援団体等が参画し活動している「みえ次世代育成応援ネットワーク」の会員拡大及び活動促進を図った。 (会員数：1,463 平成28年3月31日現在)	大人	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
子育て支援活動 拠点の設置・運 営	子どもの育ちを応援する「みえのこども応援プロジェクト」の活動拠点として、商業施設に「よっかいちステーション」を設置し、毎週火曜日と第4土、日曜日に、企業や団体等がボランティアとして、おもちゃの病院、太鼓体験、工作など、親子がふれあいながら楽しむ機会を提供した。 (来場者数：10,577人)	子ども、 大人	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
子育て応援！わ くわくフェスタ の開催	企業、地域の団体、学生ボランティアなどの多様な主体が参加し、子ども向けの体験や遊び、子育て情報の提供、日頃の活動発表などを多彩に行うことにより、県民にさまざまな情報を発信し、「子育て・次世代育成支援」の機運醸成を図るとともに、互いに連携・協働・交流し、子育てを応援する地域づくりを一層推進する催しを開催した。 (開催日：平成27年11月14日・15日、場所：東長島スポーツ公園（紀北町）、来場者数：約6,500人、ボランティア参加数：12人)	子ども、 大人	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
小学生地域魅力 発見事業	小学生を対象に、大台町と大紀町が連携して実施する、豊かな自然等地域の魅力を生かした、地域への愛着や考える力を育む取組に対し、三重県南部地域活性化基金を活用して支援を行った。 (開催回数：2校計13回)	小学生	地域連携部 南部地域活性化局 南部地域活性化推 進課
高校生地域人材 育成事業	高校生を対象に、尾鷲市と紀北町が大学と連携して実施する、地域に目を向け、自ら行動する力を育むことにより、地域を担っていく人材を育成する取組に対し、三重県南部地域活性化基金を活用して支援を行った。 (開催回数：1校計5回)	高校生	地域連携部 南部地域活性化局 南部地域活性化推 進課
県生涯学習セン ター講座	市町行政や関連施設等と連携しながら、社会の要請に対応できる地域指導者の人材育成講座等を実施した。テーマは市町のニーズに基づき決定した。 (子どもをテーマにした講座を2回実施：「子育てが難しい時代だからこそ、妊娠期から親になることをみんなで支援しよう」平成27年7月23日実施、受講者数20名、「子どもの歌の世界への誘い/子どもの歌、歌あそびの楽しみ～みなさんと歌いましょう」平成27年8月9日実施、受講者数50人)	大人	環境生活部 文化振興課
みえ子ども医療 ダイヤル（#8 000）	子どもの急な病気や事故、薬に関する心配について、医療関係の専門職員が電話相談に応じた。 ・相談時間：毎日19時30分～翌朝8時00分 ・相談件数：9,914件	大人	健康福祉部 医療対策局地域医 療推進課
「女性が働きやす い医療機関」認 証制度	子育て時の当直免除など女性の医療従事者が働きやすい環境づくりの促進を目的に、女性が働きやすい勤務環境の改善に積極的に取り組んでいる医療機関を認証するとともに、広く周知を図った。 (平成27年度認証医療機関数：5 医療機関、認証式：平成28年3月22日)	医療機関	健康福祉部 医療対策局地域医 療推進課
少年相談110番	家庭問題、交友問題、学校問題、犯罪被害等少年や保護者等の悩みや困り事の相談に応じ、指導・助言を行った。 ・フリーダイヤル ・相談時間：祝祭日、年末年始を除く月から金曜日9時から17時 ・平成27年度、相談件数：10件	子ども、 保護者、 教職員等	警察本部少年課
いじめ電話相談	子ども、保護者等を対象にいじめ電話相談を実施した。 (相談時間：毎日24時間（365日）) ・いじめ電話相談件数 147件	子ども 保護者 等	教育委員会事務局 研修企画・支援課
教育相談	子ども、保護者、教職員を対象にプレイセラピーやカウンセリング等の面接相談、電話相談を実施した。 (相談時間：年末年始祝日を除く月水金9時～21時、火木9時～17時) ・電話相談件数 2,137件 ・面接相談件数 6,495件	子ども 保護者 教職員	教育委員会事務局 研修企画・支援課
体罰に関する電 話相談	子ども、保護者等を対象に体罰に関する電話相談を実施した。 (相談時間：年末年始祝日を除く月水金9時～21時、火木9時～17時) ・体罰に関する電話相談件数 4件	子ども 保護者 等	教育委員会事務局 研修企画・支援課

取組名	取組概要	対象	担当課
子ども専用電話相談	子どもからの相談に対応する窓口として、子ども専用電話相談「こどもほっとダイヤル」を運営し、悩みを抱えた子どもの声を受け止め、子どもとともに状況や気持ちを整理しながら継続して相談を受け、子どもが自らの力を回復して解決していくことができるよう手助けを行った。虐待やいじめなど子ども自身の力だけでは解決できないような場合には、児童相談所や教育委員会等関係機関と連携して対応した。 ・フリーダイヤル ・相談時間：年末年始を除く毎日13時～21時 ・相談件数：1,148件	子ども	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
思春期ピアサポーター養成事業	思春期の性や悩みを気軽に相談できる仲間として大学生をピアリーダー・ピアサポーターとして養成し、中高生に対し世代の近い仲間として性に関する正しい情報を提供する等、ピア活動（仲間教育）を実施した。 （養成人数：50人）	大学生・ 中学生・ 養護教諭 等	健康福祉部 子ども・家庭局子 育て支援課
妊娠レスキューダイヤルの設置	若年層の望まない妊娠で周囲に相談できない等子どもたちの悩みに対する電話相談窓口を運営するとともに、医療・保健・教育・福祉等関係機関が連携し早期からサポートすることで児童虐待の未然防止に努めた。 ・相談時間：毎週 月・水 15:00～18:00、土 9:00～12:00 （年末年始、祝日を除く） ・相談件数：76件	若年層 （10歳 代）	健康福祉部 子ども・家庭局子 育て支援課
思春期保健指導セミナー	中高生の性や望まない妊娠等、思春期の子どもたちや家族が抱える性にまつわる問題を関係者が共通理解し、各々の機関で実践に活かす手法を学ぶ目的でセミナーを開催した。 （開催日：平成28年2月11日、場所：三重県医師会館、参加者数：270人）	大人（医 療関係 者・教 育関係 者、保 健関係 者等）	健康福祉部 子ども・家庭局子 育て支援課
給食施設巡回指導	給食を実施している保育所等児童福祉施設、私立幼稚園及び学校に栄養指導員が巡回し、管理栄養士、栄養士の配置及び適切な栄養管理等の実施について指導助言を行うとともに、食育の視点も捉えた指導を実施した。 （巡回指導施設数：101施設）	施設管理 者及び給 食従事者	健康福祉部医療対 策局健康づくり課
若年層の自殺対策推進体制構築事業	子どもの自己肯定感を高めるとともに、ストレスとの付き合い方や問題に遭遇した時、周囲に助けを求めることが大切であることを伝え、また、相談しやすい環境づくりや精神疾患への早期支援を地域の実情に応じて取り組んだ。 ・専門相談窓口の設置 新規相談件数 202件 ・アウトリーチ型支援 5件 ・教職員等を対象とした研修：5回 231名受講 ・生徒を対象とした自殺予防の授業：8校 11回 1279名受講 ・保護者等を対象とした講義：2回 110名受講 ・保健医療・教育関係者等を対象とした研修：3回 191名受講 ・関係機関による支援ネットワーク（事例検討）3回	主に中高 校生及び その保護 者・学校 関係者	健康福祉部医療対 策局健康づくり課
子どもの心サポート事業	教育相談に関する研修会を実施し、思春期の子どもたちの悩みや不安に対する理解と適切な支援が行えるよう、教職員の資質向上を図るとともに、困難なケース等についてはカウンセリングや心理療法等の面接相談を実施した。 ・思春期の子どもの心を理解する研修講座数 4講座 ・思春期の子どもに係る面接相談件数 3,276件  教育相談に関する研修会を実施し、児童生徒の心の問題に対する理解と適切な支援が行えるよう、教職員の資質向上を図った。 ・教育相談に関する研修講座数 26講座 ・延べ受講者数 1,115人	子ども 保護者 教職員	教育委員会事務局 研修企画・支援課
生活困窮家庭の子ども学習支援事業	生活困窮者自立支援法に基づき、県所管地域（多気町を除く郡部）の生活困窮家庭（生活保護受給世帯を含む）の中学生を対象に、学習習慣の確立、志望校への進学支援など学習支援を行った。 （支援者数：生活困窮家庭の中学生7人 うち中学3年生4人は全員高校進学）	中学生	健康福祉部 地域福祉課
人権に係わる相談員スキルアップ講座等	人権の視点での県内各機関の相談員の資質向上を図るため、人権に係わる相談員スキルアップ講座を開催した。 ・講座「子どもの健やかな育ちのために～子どもの権利と地域づくり～」ほか2講座 （取組数：3講座、参加者数：173人）	大人（人 権に関 わる相 談員）	環境生活部 人権センター
日本語指導の充実及びJSLカリキュラムの実践研究の推進	外国人生徒支援専門員（2人）を活用し、生徒の日本語運用力を把握する方法や日本語指導についての研究を進めるとともに、中学校、地域と連携した日本語指導体制の充実を図った。また、昨年度に引き続き、JSLカリキュラムの考え方を取り入れた指導案事例の収集・普及に取り組み、外国人児童生徒の日本語で学ぶ力の育成と社会的自立の支援を図った。	高校生、 教員	教育委員会事務局 高校教育課

取組名	取組概要	対象	担当課
多文化共生社会の担い手をつくる外国人児童生徒教育推進事業	日本語指導が必要な外国人児童生徒が、将来、社会の一員として自ら能力を発揮し活躍できるよう、外国人児童生徒の在籍が多い拠点校等のノウハウを生かした受入体制整備を進めるとともに、外国人児童生徒巡回相談員（12人）の派遣等による日本語指導、学校生活への適応指導の充実、教科指導型日本語指導（JSLカリキュラム）の実践研究を進めた。	小中学生、教員	教育委員会事務局 小中学校教育課
教職員研修事業	信頼される教職員の育成を図るため、教育現場の実態及び教職員のニーズを踏まえた講座、教職員の経験や役割に応じた研修等を実施した。 ・延べ講座数 515講座 ・延べ受講者数 42,528人 また、児童生徒や保護者、地域から信頼される活力ある学校づくりを進めるため、学校経営品質向上活動（学校マネジメント）研修を実施した。 ・延べ講座数 16講座 ・延べ受講者数 1,047人 日本語指導が必要な児童生徒への支援については、主に初期日本語指導を中心に、具体的な指導法についての研修を実施した。	教職員	教育委員会事務局 研修企画・支援課 研修推進課
フューチャー・カリキュラム実践研究事業	学習指導要領の趣旨及び内容を踏まえ、小中学校における「学ぶ喜び」、「わかる楽しさ」の創造に向けた授業改善を一層充実し、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力の育成のため、平成26年度に引き続き、授業や家庭学習等で活用できる「ワークシート」を作成のうえ、県教育委員会小中学校教育課・学力向上推進プロジェクトチームのホームページに掲載し、小中学校における学力向上の取組を促進した。 ・ワークシート掲載数 H26まで：711本→H27：1222本	小中学校教職員	教育委員会事務局 小中学校教育課 学力向上推進PT
子どもの体力向上総合推進事業	子どもの運動習慣、生活習慣、食習慣を総合的に形成する学校の取組を推進し、朝食摂取や早寝早起きなど、子どもたちの基本的な生活習慣を確立しながら、学校、家庭、地域の連携による総合的な体力向上の取組を進めた。	小学校・中学校・高等学校の教員及び児童生徒、幼児と保護者	教育委員会事務局 保健体育課
子どもの体力向上推進研究協議会	新体力テストの調査結果を「授業の工夫改善」や「体力の成長記録」として有効活用するため、第1回目の研究協議を4月に県内6会場で、第2回目を1～2月に県内8会場で行い、児童・生徒の体力向上に関する取組を推進した。（第1回559人参加、第2回 560人参加）	小学校・中学校・高等学校の教員	教育委員会事務局 保健体育課
学校体育担当者研究協議会	児童生徒が自発的・自主的に運動に親しむことにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うことができるよう、体育・保健体育の授業の工夫改善を中心に、学習課題に関する研究協議、講義、実技講習を行い、体育・保健体育教員の指導力向上を図った。 ・小学校体育担当者研究協議会 5回開催（401人） ・中高等学校体育担当者研究協議会 3回開催（224人）	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員	教育委員会事務局 保健体育課
運動部活動指導の工夫・改善支援事業	中学校及び高等学校の運動部活動の指導に、先見的な知見を有する地域のスポーツ指導者を外部指導者として派遣し、運動部活動の取組を充実させるとともに、スポーツ医・科学等を活用した高度な運動部活動の指導体制等の工夫・改善を実践研究した。また、外部指導者を対象とした研修会を開催し、指導上の配慮事項や教員との連携の在り方に関する知識を深め、指導者の指導力の向上を図った。 ・中学校20校に対し24人を派遣 ・高等学校2校に対し4人を派遣 指導経験が浅い指導者や指導に不安を抱えている指導者を対象とした指導方法等の改善につながる習熟度別研修を実施し、指導力の向上を図った。 ・バレーボール競技 52人参加 ・ソフトテニス競技 66人参加 適切な部活動運営のスキルを身につけるため、運動部活動マネジメント研修講座を年3回開催した。 ・延べ62人参加	地域のスポーツ指導者	教育委員会事務局 保健体育課
運動部活動指導者派遣事業	多様化する運動部活動への課題解決を図るため、高等学校の運動部活動の指導に、地域のスポーツ指導者を外部指導者として派遣し、運動部活動の取組を充実させるとともに、外部指導者を対象とした研修会を開催し、指導上の配慮事項や教員との連携の在り方に関する知識を深め、指導者の資質及び指導力の向上を図った。 （県立高等学校51校に対し70人を派遣）	地域のスポーツ指導者	教育委員会事務局 保健体育課
運動部活動指導者研修会	適切な運動部活動が展開されるよう、中学校及び高等学校等の指導者を対象に、指導力の向上を図る研修会を開催し、運動部活動の充実を図った。 ・アンガーマネジメント研修会（30人参加） ・陸上（80人参加） ・柔道（29人参加）	中学校・高等学校・特別支援学校の教員	教育委員会事務局 保健体育課

取組名	取組概要	対象	担当課
武道等指導充実・資質向上支援事業	中学校における武道・ダンスの必修化に伴う課題を解決するため、安全に配慮した指導の在り方等に関する講習会を開催し、武道・ダンス指導に係る教員等の指導力の向上を図った。 また、専門性を有する地域の武道・ダンス指導者を外部指導者として中学校に派遣することにより、保健体育科における武道・ダンス授業の充実を図った。 (中学校28校に対し32人を派遣)	地域のスポーツ指導者	教育委員会事務局 保健体育課
小中学校への司書派遣	学校司書未配置の市町の小中学校に司書の有資格者を派遣し、図書館を活用した授業の取組を支援するなどし、子どもの読書活動を推進した。 (派遣実施：3市町6小中学校)	小学生、中学生	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
みえの学力向上県民運動推進事業(みえの学び場づくり)	各市町で活動する「まなびのコーディネーター」(50人)を県が委嘱し、子どもが学習や体験活動を通して、自己肯定感等を育むための「みえの学び場」づくりを実施した。「まなびのコーディネーター」は学校や地域のニーズをもとに地域住民によるボランティアを調整し、共に学びの場での子どもの活動を支援した。 (実施数：1,881か所 子どもの参加数：41,384人)	市町	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
子ども読書活動推進講演会	子どもの読書を推進するためのヒントを、作家が物語を作る過程の話や読者に伝えたい思いを伝えることを通して学んだ。(参加数 117人)	ボランティア、図書館関係者、学校関係者、一般県民	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
子どもの読書を考える集い	子どもの読書を推進するためのヒントを、小中学校の事例発表や作家の本に対する思いを聞くなか、短歌づくりをするなかで学んだ。(読書に関わるボランティア、図書館関係者、学校関係者、一般県民 参加数 87人)	ボランティア、学校関係者、図書館関係者、一般県民	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
子ども読書活動推進会議	子どもの読書を推進するため、有識者を交え、子どもの読書推進にかかる具体的方策の企画立案、分析、評価等を行った。	三重県子ども読書活動推進会議委員。	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
三重若樫少年サポートネットワークの運用	少年問題に対し、効果的な活動が推進されるよう、教育、医療、福祉、更生に携わる機関・団体等により構成する「三重若樫少年サポートネットワーク」会議を開催し、少年の健全育成に関する情報交換を実施した。 (開催日：11月24日、参加者数：関係機関・団体の代表、関係者等29人)	大人	警察本部少年課
「三重県版コネクションズ」による非行少年の立ち直り支援等	非行等の問題を抱え社会から孤立した少年に対し、少年警察協助手員、大学生ボランティア等の少年警察ボランティアや、関係機関・団体等と連携し、農業体験や社会参加活動等の立ち直り支援の取組を推進した。 (平成23年3月から平成28年3月末までの間、支援対象少年：135人 支援回数：2,316回)	非行少年被害少年	警察本部少年課
インターネット上の違法・有害情報から少年を守る対策	携帯電話等からインターネット上の違法・有害情報へのアクセスを防止し、子どもを犯罪被害から守るため、携帯電話販売店に対し、子どもが使用する携帯電話を販売する際には、保護者等に対し、子どもの犯罪被害等の実態やフィルタリング機能の必要性についての説明、同機能の利用推奨を徹底するよう要請した。 (平成27年度、携帯電話販売店：延べ59店舗) 非行防止教室等を通じ、インターネット利用に起因する子どもの犯罪被害等の実態とインターネットの危険性、適切なフィルタリング機能の利用、家庭でのルールづくり等について、児童生徒や保護者等への啓発を実施した。 (平成27年度、インターネットに係る非行防止教室実施校数：延べ107校、参加者数：延べ13,107人)	携帯電話事業者 小学生～高校生、専門学校生、保護者及び教員	警察本部少年課
学校薬剤師による薬物乱用防止教室「くすりの正しい使い方教室」	覚醒剤などの違法薬物の乱用だけでなく、医薬品を医療目的から逸脱した用量や用法などの医療目的以外で使用することも薬物乱用であるため、一般用医薬品などのくすりの服用方法や副作用などくすりの正しい使い方について、学校薬剤師が薬物乱用防止教育の一環として薬物乱用防止教室を実施した。 (実施校数：107校)	小学生(高学年)～高校生	健康福祉部 薬務感染症対策課

取組名	取組概要	対象	担当課
薬物乱用防止教育認定講師等による薬物乱用防止教室「ダメ。ゼッタイ教室」	ライオンズクラブ国際協会334-B地区と公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターが共同で認定した薬物乱用防止教育認定講師等が実施した。 啓発用ビデオやCD-ROMを活用した薬物乱用防止教育と地域のおじさんやおばさんとして、人生の豊富な経験を生かし「語り部」として、生き方「ライフスキル」を青少年に伝えた。 (実施校数：130校)	小学生～高校生	健康福祉部 薬務感染症対策課
インターネット社会を生き抜く力の育成事業	スマートフォンを持ち始める可能性が高い小学校3年生から中学校3年生を対象に、モデル小中学校52校(小学校27校、中学校25校)において、情報モラルやリスクに対する能力を把握する「ネット検定」を実施し、子どもたちのインターネットの適切な利用等に対する知識・態度の育成を図った。 保護者等による「ネット啓発講座」を実施し、保護者への啓発活動を展開することにより、各学校・地域における子どもの見守り体制の充実を図った。 (実施校41校、受講した保護者等2,387人)  全公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象とした児童生徒のインターネット上の問題のある書き込みに係る検索及び削除要請代行を専門業者に委託(ネットパトロール)し、その情報を基に学校での指導及び啓発を行い、インターネットに潜む危険性について児童生徒及び保護者の理解を深めた。 (危険度の高い書き込み件数 33件)  平成27年10月25日、三重県総合文化センターにおいて、スマートフォン等の問題を高校生が自ら考え取り組む意見交流会「高校生スマホサミット」を開催した。 (県内の高等学校9校(県立高等学校8校、私立高等学校1校)の計15人参加)	保護者 教職員 児童生徒	教育委員会事務局 生徒指導課
青少年健全育成協力店運動	「三重県青少年健全育成条例」に基づき、関係機関と連携して子どもを有害環境から保護する取組を進めるとともに、立入調査を実施した。 (子どもの利用の多い店舗のうち青少年健全育成協力店の割合：99.9%)	大人	健康福祉部 子ども・家庭局少 子化対策課
子ども農山漁村ふるさと体験推進事業	農山漁村でのふるさと体験活動を通じて、小学生～大学生に学ぶ意欲や自立心を育み、その力強い成長を支えるため、受け入れ地域の体制整備や体験指導者の育成を行った。 (受入地域11地区、体験指導者15人養成)	農山漁村 地域の大人	地域連携部 地域支援課 (平成28年度以降 は農林水産部農山 漁村づくり課)
防犯ボランティア団体等との連携による子ども見守り活動等の推進	「平成27年度自主防犯活動団体活性化推進事業」により、防犯ボランティア団体に対して防犯活動用物品の配布等の支援を行ったほか、通学路等において子どもの保護や見守り活動を行う事業所を、三重県警察認定「子ども安全・安心の店」に認定するなど、子どもの安全を確保する活動の活性化を図った。 (平成27年度、自主防犯活動団体活性化推進事業支援団体数：6団体、子ども安全・安心の店認定数：18事業所) 犯罪被害から子どもを守るため、チャイルドガーディアンを警察署等に配置し、地域の関係機関・団体の活動の一体化を図るとともに、組織力を結集した見守り活動の充実を図った。 (平成27年度、合同パトロール実施回数：1,478回)	防犯ボラ ンティア 団体のほ か、ボラ ンティア 活動に従 事する事 業所等	警察本部生活安全 企画課 警察本部少年課
働きやすい職場づくり事業	男女がともに働きやすい職場づくりを目的に、残業時間の削減や休暇の取得促進、育児や介護をしながら働き続けられる職場づくりなどに積極的に取り組む企業等を認証するとともに、特に優れた実績を有する企業等を表彰し、併せて優れた取組事例を広く紹介した。 (H27年度認証数：109社 表彰：4社、表彰式：平成27年11月20日)	企業等	雇用経済部 雇用対策課
働き方改革推進事業	働き方を見直し、企業におけるワーク・ライフ・バランスを促進するため、セミナーの開催や優良事例の紹介などによる普及・啓発を行った。 (セミナー開催：3か所(四日市市、伊賀市、津市)、参加者：149人)	企業等	雇用経済部 雇用対策課
交通安全指導者講習会	小学校及び幼稚園の保護者を対象に、街頭指導の方法等子どもへの交通安全指導に関わる内容等の講習会を実施した。 (開催日：5月27日、1月13日、延べ参加者数：約60人)	大人(保 護者)	環境生活部交通安 全・消費生活課